

第 1 回検討委員会の議論を受けた作業方針

報告書骨子案 (第 1 回検討委員会)	作業方針	報告書案 (第 2 回検討委員会)
序章	○「評価の考え方の整理」の結果を反映して修正する。	序章
第 I 章 わが国の自然と社会経済	○箇条書きをテキスト化する。	第 I 章 わが国の自然と社会経済
第 II 章 生物多様性の危機の評価 「評価する前に考え方を整理しておく必要がある」	○「評価の考え方の整理」により、要因の評価とする。 ・アイコンを変更する ・指標を変更する ・評価とその理由を変更する ○その他 ・箇条書きをテキスト化し、確度に応じた文末表現にする ・データ例を追加する	第 II 章 損失の要因の評価
第 III 章 生態系別の評価 「評価する前に考え方を整理しておく必要がある」	○「評価の考え方の整理」により、従前どおり状態の評価とする。 ○その他 ・箇条書きをテキスト化し、確度に応じた文末表現とする ・データ例を追加する	第 III 章 損失の状態の評価
「第 II 章、第 III 章を総括した方向性のある記述が必要」 「生態系サービスへの言及が必要」	○新たに検討して作成する。 ・第 II 章・第 III 章を受けた総括表を設ける。 ・生態系サービスについて言及する。	第 IV 章 評価の総括(骨子) 第 1 節 2010 年までの生物多様性の損失 1. 損失の状態と要因の評価の総括 2. わが国の生物多様性の損失と生態系サービス
第 IV 章 2010 年目標の達成状況の評価(検討中)	○新たに作成する。 ・23 の目標について達成度を評価する。 ・評価期間は 2002 年から 2010 年とする	第 2 節 2010 年目標の達成状況の評価 1. 2010 年目標とは 2. わが国における 2010 年目標の達成状況の評価
「将来の見通しや転換点に関する記述が必要」	○新たに検討して作成する。 ・将来の見通しと対応の方向性を示す。 ・「転換点」など重要な損失について言及する。	第 3 節 2010 年以降の生物多様性の損失への対応
第 V 章 今後の課題(検討中) 「総括と分けて、技術的な事項を書き込むべき」	○新たに検討して作成する。 ・今後の総合評価実施上の課題を抽出して書き込む。	第 V 章 今後の課題(骨子)

